

令和5年度

お茶の水女子大学
特別選抜学生募集要項

総合型選抜
(新フンボルト入試)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
Tel 03(5978)5151,5152(入試課)
HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知しますので、随時確認願います。

目 次

I	入学者受入方針	1
1.	1. 本学の教育理念と総合型選抜アドミッション・ポリシー	1
2.	2. 求める人物像	1
3.	3. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー	1
II	II 学科の受入方針	2
III	III 総合型選抜（新フンボルト入試）学生募集要項	6
1.	1. 募集人員・出願資格・選考方法	6
2.	2. 出願要件	7
3.	3. 出願手続	8
(1)	(1) 出願上の注意	8
(2)	(2) 出願期間	8
(3)	(3) 出願方法	8
(4)	(4) 提出書類等	8
(5)	(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について	9
	インターネット出願の流れ	10
4.	4. 選抜方法詳細	14
(1)	(1) 第1次選考	14
(2)	(2) 第2次選考	14
5.	5. 大学入学共通テストの受験について	15
6.	6. 合格発表等	17
7.	7. 個人情報及び試験成績の利用について	17
8.	8. 入学手続	17
9.	9. 注意事項	17
10.	10. 大学案内の請求	18
11.	11. 令和6年度総合型選抜（令和5年度実施）に関する変更の予告	19
IV	IV その他の案内	21
1.	1. 奨学金	21
2.	2. 入学料減免と授業料減免	21
(1)	(1) 入学料減免の制度と申請資格について	21
(2)	(2) 授業料減免の制度と申請資格について	21
(3)	(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について	21
3.	3. 学生寮	22
4.	4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について	22
(1)	(1) 申請書の入手方法について	22
(2)	(2) 問合せ先	22
5.	5. アパート等の紹介	22
6.	6. お茶の水女子大学交通案内	23

I 入学者受入方針

1. 本学の教育理念と総合型選抜アドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学では、グローバル女性リーダーの育成を教育目標に掲げ、さまざまなプログラムを設けています。専門的な知識を多様な場で使いこなせる土台を育成するための「21世紀型文理融合リベラルアーツ」科目群を平成20年度から新設し、さらに創造性と実践性を備えた専門基礎力を持つ女性の育成を実現するために、平成23年度から学生主体の「複数プログラム選択履修制度」を専門教育課程に導入するとともに、総合学修支援センターを新設して主体的な学修プロセスの実現をサポートする体制を整えました(教学IR・教育開発・学修支援センターに名称変更)。平成24年度からは、グローバル人材育成推進事業において、大学教育のグローバル化を目的としたカリキュラム整備を行い、国際的な場で活動する人材を育成するための語学教育、国際学、多文化交流などのプログラムをいっそう強化し、海外の交流協定校への留学を推奨しています。平成26年度からは在学中に海外で学びやすいように、四学期制も導入しました。

こうした本学の教育システムで学ぶことを志す意欲的で可能性に満ちた学生を受け入れるため、平成29年度入試から新たな総合型選抜を導入しました。この新フンボルト入試は、第1次選考を兼ねるプレゼминаールと第2次選考の図書館入試・実験室入試という二段構えの、受験者の資質を丁寧にじっくりと見極めるユニークな入試です。

まずプレゼминаールで志願者に大学の授業をじかに体験してもらい(文系学科志願者のみ受講を必須とします)、そこでのレポートや他の提出書類を評価して第1次選考を行います(理系学科志願者にはプレゼминаールは課さず、出願書類にて選考します)。第2次選考では、文系は本学附属図書館の文献や資料を駆使しつつレポートを作成してもらいます。また、グループ討論や面接を通じて論理力や課題探究力、独創性などを評価します(図書館入試)。理系は各学科の専門性に即した実験や実験演示、データの分析等の課題を課したり、高校での学びを活かした課題研究発表などを行ってもらい、探究する力を見ます(実験室入試)。その成果やプロセスを評価することで、いわゆるペーパーテストで測れない潜在的な力(ポテンシャル)を丁寧に見極めたいと考えています。単なる知識(暗記)量の多寡ではなく、その知識をいかに「応用」できるかを問う入試です。

この入試を通して、基礎学力をしっかり身につけたうえで広く深くものごとを探究することのできる人、入学してからの学修で、さらには社会に出てから、あるいは大学院に進んで研究を続けていくなかで、ますますその才能を磨き伸ばしていけるような、豊かな可能性を持っている人を迎え入れたいと考えています。今高校で学びながら育んでいる力をそのままこの入試にぶつけてみてください。

2. 求める人物像

本学での勉学に強い意欲と専門性を磨いていくために必要となる十分な基礎的学力を持っていること。そしてそれに加えて、文理を問わずさまざまな事象に強い知的好奇心を持ち、そこで課題を自ら発見し、それを粘り強く探究していく力、独創的な解を導けるようなポテンシャルを備えている人を受け入れたいと思います。

具体的には、以下の項目のいずれかひとつ以上に当てはまる方を求めます。

1. 知識や意見を人に伝え、実践するためのコミュニケーション能力や応用力を備えている。
2. 真理の探究と価値の創造に対する憧憬と幅広い興味・関心を持っている。
3. 自分の将来と社会の未来へのビジョンを明確に持っている。
4. グローバルな視野をもって思考し、国際的な場での活動を希望している。

3. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。複数プログラム選択履修制度では、将来のキャリア展望や関心に応じて、専門教育プログラムを履修します。第1のプログラムとして、所属する学科の開設する「主プログラム」を履修します(必修、入学した学科のものを選択)。次に第2のプログラムとして、専門領域に深く特化する「強化プログラム」、他の専門領域を横断して学ぶ「副プログラム」、領域融合型・学際型の「学際プログラム」のいずれかを選択し履修します(選択必修)。また文教育学部芸術・表現行動学科及び生活科学部食物栄養学科では、それぞれの教育目標にそった4年一貫の「専修プログラム」を設けています。各自の目的や関心にそって、主体的に学修することができます。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

Ⅱ 学科の受入方針

文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけ出し、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

高校では、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探究の面白さを経験してきてほしいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

総合型選抜では、英・数・国の基礎学力をバランスよく備え、自分の将来像をある程度、具体的に持っている学生を望みます。

【言語文化学科】

言語文化学科では、日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化という4つのプログラムを開設しており、当該の言語の深い理解と高度な運用能力を身に付けることを目指し、それぞれの言語圏の文学や文化の本格的な分析を行います。そのためにこれらプログラムのいずれにおいても、文理両分野における十分な基礎学力と、旺盛な好奇心と、言葉への愛着を持ち、主体性と協働性を持って行動できる学生を求めます。

【人間社会科学科】

人間社会科学科では、人間について深い理解を持ち、その理解を現実的な場面で役立てていこうとする意欲ある人を求めます。当学科には、人間の発達について多角的に考えたり(教育科学)、人間の意識や行動の社会的側面を考えたり(社会学)、子どもが育つ環境や文化について考える(子ども学)という、3つの研究領域がありますが共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明したり、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

高校ではさまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語(外国語)・数学は、大学での学習と研究にとって大変重要な基礎的能力を育成するのに必要です。また、地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

(グローバル文化学(環)プログラムについて)

グローバル化する現代社会の課題を、①地域研究・地域文化、②多文化交流・多文化共生、③国際協力・国際関係、という3つの領域を組み合わせることで、動的に捉え、実践的に学んでいこうというのが、グローバル文化学のコンセプトです。

その特徴は、文教育学部の3つの学科(人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科)のいずれの学生も、主プログラムとして選択できることです。また、所属学科のいずれかの副プログラムを履修することで、学際的な学びができます。このような特徴から「学環」と呼んでいます。

この学環での学修を希望する人は、自分の関心や得意分野にそって、受験する学科を選んでください。カリキュラムなど、さらに詳しい情報を知りたい人は、文教育学部グローバル文化学環のホームページにアクセスしてみてください。

理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

本学総合型選抜で求める人物像に加えて、上記のような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

教師や研究者のように数学を職業としたい人

数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人

とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

志願者に求めるのは以下のことです。

高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。

文章から数学的な意味を読み取ることができる。

自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【物理学科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。

更に、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。総合型選抜では、物理学に強い興味を持ち、物理コンテストなどへ積極的に参加した経験も評価します。また、大学での物理の授業を履修するうえで、高校での物理及び数学の十分な習得は必須ですので、これらの科目は指定科目になっています。

【化 学 科】

“化学”は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に関連しており、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、高校では化学のほかこれらの基礎となる数学や物理学の学習を通し、論理的な思考力の基礎をしっかりと身につけることに加え、生物学や地球科学を学び、広く自然科学の知識を身につけておくことが必要となります。また“化学”においては、実験と研究は表裏一体をなすものであることから、入学後には、実験を重視し、1年次から3年次にわたり、多様な化学の各分野についての実験科目を必修として課しています。さらに4年次に進むと、これらの実験科目の集大成と実際の化学研究の現場に参画してもらう意味を込めて、卒業研究が行われます。

以上のことに鑑み、この総合型選抜では、“化学”を学ぶために必要な基礎的な学力に裏打された“化学”への深く強い興味と関心に基づく積極的な学習意欲に加えて、実験に主体的に取り組み、その結果を整理し、論理的に考察し、結論を引き出す力を評価します。

【生物学科】

生物学では、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考えることができる柔軟な思考力と、それを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーを持つ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より多くの知の蓄積に貢献できる人材に育つことを期待しています。総合型選抜では特に、“生き物”の謎に対する探究心を重視し、生物学のさまざまな領域において高い問題意識を持って、積極的かつ行動的に自ら探究した経験を評価します。また、自然科学を広く学習して、科学的な基礎知識や考え方を備えていることも評価します。入学後は、1年生から研究室に入って研究ができる環境がありますので、生物学科のカリキュラムと合わせて、生物学の専門性を高めることを希望します。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」と呼ばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。情報科学を通じて 21 世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそういわれて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

情報科学科の先輩たちの中には、有名な国際会議において自分の研究を発表してきた人達が少なくありません。これは深い専門的素養を身に付けた上でのおよむべき研究が可能としたものです。入学してから輝かしい活躍をするためには、まず情報科学の専門教育に励むことが必要です。入試の要件に数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、Bの全てを課しているのは、これを可能にするために最低限必要なことであり、講義や演習もこれらを習得していることを前提に行われます。また情報科学では、ほとんどの新しい知識は英語で発信されるので、普通に情報科学を学ぶのにも基本として英語の実力が不可欠です。そして、一つの専門分野に閉じこもらず広くいろんな分野に通ずる学際性も必要です。理科の少なくとも1科目を要求しているのは学際性を支える最低の要件であり、その趣旨を全うするためには、本当は、少なくとも理科 3 科目を履修してきて欲しいところです。情報科学科では、高校で意欲的に学んできた、やる気に満ちた学生を歓迎します。

生活科学部

【食物栄養学科】

食物栄養学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養や健康に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために食物と栄養に関する様々な学問分野において、分子、遺伝子、細胞レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。

本学科の教育の特徴は、管理栄養士養成課程に必要な多数の実験や臨地実習を含む長時間にわたる実験・実習が必修となっていることです。実験・実習科目は1、2年より開講され、特に3年生の午後は毎日実験・実習が当てられています。所定単位を取り、本学科を卒業すると、栄養士資格が取得できると同時に、管理栄養士の国家試験受験資格と食品衛生監視員の任用資格が得られます。また、栄養教諭(一種)免許を取得することも可能です。

本学科の教育研究は実験科学を基盤とした上で生活や社会との接点を重視するため、本学に進学する学生には、忍耐強く実験・実習に取り組めること、自ら考え行動できること、他者とコミュニケーションをとりながらものごとを進められることを望みます。高等学校では、理数系の基礎をしっかりと履修すること並びに生活に即した学習を重視すること、具体的には、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物のうち 2 科目以上を、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを履修しておくこと、家庭科や体育などの実技科目にも積極的に取り組むことを求めます。

【人間・環境科学科】

科学は、その普遍性・客観性・論理性を武器に、世界の仕組みを明らかにしてきました。しかし、その成果を実際に社会の中で役立てるためには、科学が精密に分析してきたメカニズムを総合して設計する多様な工学的手法の理解が不可欠です。しかしそれだけでは不十分です。社会や生活の中で課題が生じたらその現場を、当事者と同じひとりの人間として理解する必要があります。両者の理解によりはじめて、真に課題を解決できる工学的方法の創造が実現します。本学科は、社会や生活に真に貢献する科学技術の導入を目指しています。学科の柱となる学問分野には、建築設計学、建築計画、自然人類学、建築環境工学、人間工学、福祉工学、環境機能材料学、環境評価学、水環境工学などがあります。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を本学科は、歓迎します。本学科では、建築関連科目を中心に一定の基準に従い履修を行うことで、一級建築士の受験資格を得ることができます。志願される方は、高等学校で理数系の基礎をしっかりと履修していることを望みます。出願には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bを、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学のうち 2 科目以上を履修しておくことが必要です。

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する2つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学：地域社会から国際社会まで、多角的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係についての社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探究します。②生活文化学：人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育んできた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。本学科を志望する人は、人間生活学科の2つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民などの社会科系の科目をしっかりと履修していることはもちろんのこと、英語、数学、国語をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

志望する人は、高等学校において、国語・英語(外国語)・数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

Ⅲ 総合型選抜(新フンボルト入試) 学生募集要項

1. 募集人員・出願資格・選考方法

受入学部・学科	文系学科	理系学科
	文教育学部:人文科学科、言語文化学科、 人間社会科学科 生活科学部:人間生活学科、心理学科	理学部:数学科、物理学科、化学科、 生物学科、情報科学科 生活科学部:食物栄養学科、 人間・環境科学科
募集人員	文系学科全体で12名	理学部:数学科(3名)、物理学科(3名)、 化学科(2名)、生物学科(5名)、 情報科学科(7名) 生活科学部:食物栄養学科(2名)、 人間・環境科学科(2名)
出願資格	次の①～②の全ての要件に該当する女子 ① 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月以降卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者 ② お茶の水女子大学での勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者	
出願期間	※総合型選抜はインターネット出願のみの受付です。 下記期間中にインターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するよう送付すること。	
	インターネット出願登録期間 令和4年8月26日(金)9:00～9月2日(金)8:59 郵送出願期間 令和4年9月1日(木)～9月2日(金) 【必着】 ^[注] ※9月1日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。	インターネット出願登録期間 令和4年10月21日(金)9:00～10月26日(水)8:59 郵送出願期間 令和4年10月24日(月)～10月26日(水) 【必着】 ※10月25日(火)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。
選考方法	第1次選考は、令和4年9月23日(金)に行うプレゼминаール受講後に作成したレポートや、出願時に提出する志望理由書・活動報告書・外国語試験成績等を総合的に判定する(プレゼминаールの参加は必須とする)。選考結果は令和4年9月30日(金)正午に学内掲示し、合格者には郵送(速達)により通知する。 第2次選考は、14ページ「(2)第2次選考」を参照のこと。 選考の結果は令和4年11月1日(火)9時に学内掲示し、かつ合格者には郵送(速達)により通知する。	第1次選考は、出願時に提出する志望理由書・活動報告書・外国語試験成績等を総合的に判定する(プレゼминаールの参加は任意とする)。選考結果は令和4年11月11日(金)正午に学内掲示し、合格者には郵送(速達)により通知する。 第2次選考は、14ページ「(3)第2次選考」を参照のこと。 選考の結果は令和4年12月8日(木)正午に学内掲示し、かつ合格者には郵送(速達)により通知する。
備考	総合型選抜出願者については、高等学校のほか高等専門学校及び高等部を置く特別支援学校並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設出身者を含む。	

[注] 文系学科に出願するためには、プレゼминаールの申込が別途必要となる。詳細については、プレゼминаールのパンフレットを参照すること。

2. 出願要件

- ① 調査書の学習成績概評がA段階以上であることが望ましい。
- ② 学科別に指定されている下記の科目(指定科目)について、履修し単位を得ているか、入学時まで単位を取得見込みであること。

文 教 育 学 部	人 文 学 科	指定科目なし
	言 語 文 化 学 科	指定科目なし
	人 間 社 会 学 科	数学 I・II・A・B
理 学 部	数 学 科	数学 I・II・III・A・B
	物 理 学 科	物理基礎・物理及び数学 I・II・III・A・B
	化 学 科	化学基礎・化学、数学 I・II・III・A・Bと、(物理基礎・物理)又は(生物基礎・生物)の2組のうちのいずれか1組
	生 物 学 科	生物基礎・生物、数学 I・II・III・A・Bと、(物理基礎・物理)又は(化学基礎・化学)の2組のうちのいずれか1組
	情 報 学 科	数学 I・II・III・A・Bと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組のうちのいずれか1組
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	数学 I・II・A・Bと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組から2組
	人 間 ・ 環 境 学 科	数学 I・II・III・A・Bと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)、(地学基礎・地学)の4組から2組
	人 間 生 活 学 科	指定科目なし
	心 理 学 科	数学 I・II・A・B

③ 外部外国語検定試験について

- ・文系学科志願者は、いずれかの外国語検定試験のスコア・級の提出を必須とする。
活動報告書の該当欄に取得したスコア・級を記入し、証明書の写しを資料として添付すること。
《提出できる外国語検定試験スコア・級》

ケンブリッジ英語検定、TOEFL、IELTS、TEAP、英検、TOEIC、GTEC
(プレゼミナール当日から遡って2年以内のスコアを有効とする。)

- ・理系学科志願者は、外国語検定試験のスコア・級の提出を必須としない。

- ④ 物理学科は、自分で探究した物理現象・理論・実験などについての PDF 電子ファイルと、それを A4 判に印刷したものの提出を必須とする。
- ⑤ 生物学科(自主研究ポスター発表・質疑応答と口述試験を選択した者のみ)と食物栄養学科は、出願時に自主研究発表のポスター(A4判に縮小印刷)の提出を必須とする。

3. 出願手続

※総合型選抜はインターネット出願のみの受付となります。

(1) 出願上の注意

- ① 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- ② 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願期間

学科により、出願期間が異なるので注意すること。

当該期間中に、インターネット出願の登録と検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するよう送付すること。

【文系学科】

インターネット出願登録期間 令和4年8月26日(金)9:00～9月2日(金)8:59

郵送出願期間 令和4年9月1日(木)～9月2日(金)【必着】

ただし、9月1日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

【理系学科】

インターネット出願登録期間 令和4年10月21日(金)9:00～10月26日(水)8:59

郵送出願期間 令和4年10月24日(月)～10月26日(水)【必着】

ただし、10月25日(火)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート(インターネット出願時印刷可能)を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

インターネット出願に関しては10ページ「※インターネット出願の流れ」を参照

(4) 提出書類等

志願者名票・写真票	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。
調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
志望理由書	※ 本学所定の用紙
活動報告書及び関連資料	※ 本学指定の用紙 関連資料については活動報告書の注記を参照のこと。なお、物理学科志望者は、自分で探究した物理現象・理論・実験などについての PDF 電子ファイルをインターネット出願登録時にアップロードし、かつ A4 判に印刷したものを関連資料として提出すること。また、生物学科(自主研究ポスター発表・質疑応答と口述試験を選択した者のみ)と食物栄養学科志望者は、自主研究ポスター(A4 判に縮小印刷)を必ず提出すること。
検定料	17,000 円(手数料別途) <u>各種支払方法については10～13ページを参照</u> 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振り込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するため、上記の返還事由に該当する場合には、令和4年12月8日(木)までに本学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)

※ 志望理由書、活動報告書は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、出願期間前に入試課に申し出ていただき、文系学科については8月19日(金)、理系学科については9月29日(木)までに、「受験上の配慮事前相談申請書」、「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。

- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、文系学科については、7月8日(金)、理系学科については9月16日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

以下のものをご用意ください

- ① パソコン(インターネット接続とPDF表示が可能なもの)、プリンタ
- ② 調査書、志望理由書等の提出書類
- ③ 顔写真データ(当日に本人確認が可能な、3ヶ月以内に撮影した単身、脱帽、正面向きのもの)
- ④ 角形2号(24cm×33.2cm)の封筒(出願書類郵送用)



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト

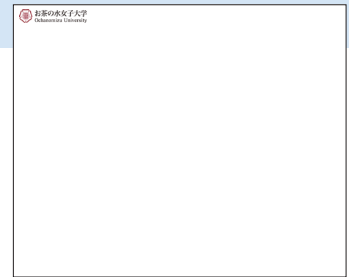
<https://e-apply.jp/ds/ocha/>

または、

大学ホームページ

<https://www.ao.ocha.ac.jp/>

からアクセス



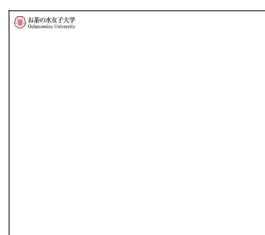
STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

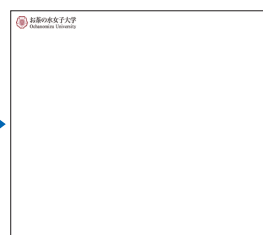
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。



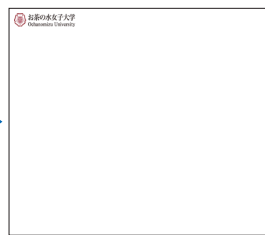
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。



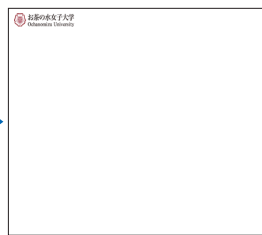
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。



- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



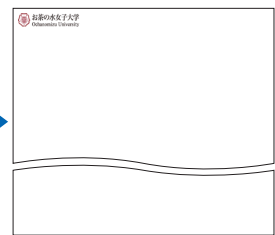
- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。



- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。



- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。



- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

4. 選抜方法詳細

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第1次選考 文系〔9月23日(金)〕、理系〔書類選考〕

文系学科志願者は、プレゼминаールのいずれかのセミナーを必ず受講すること。プレゼминаールの詳細については、「2022年プレゼминаールのご案内」パンフレットを参照すること。

セミナー受講時に作成するレポートや、出願時に提出する志望理由書・活動報告書・外国語試験成績等を総合的に評価し第1次選考を行う。

理系学科志願者には、プレゼминаールは任意参加とし、書類選考のみにて第1次選考を行う。

合格者には、下記日付に「第1次選考合格通知書」を郵送(速達)する。また、同日正午に入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。

【文系学科】 9月30日(金) 【理系学科】 11月11日(金)

入試課ホームページURL <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※プレゼминаールには受験者以外の高校2・3年生も参加できる。

(2) 第2次選考 文系〔10月15日(土)・16日(日)〕、理系〔11月26日(土)〕

第1次選考合格者に対し、文系理系それぞれで、下記のような選考を行う。

(A)文系学科「図書館入試」

- 1日目は、附属図書館の図書などを自由に参照しつつ課題についてのレポートを作成する。
- 2日目は、グループ討論と面接を課す。

(B)理系学科「実験室入試」

それぞれの学科の特性を生かした丁寧な選考を実施する。

- (1) 理学部数学科は、面接と口述試験を行う。口述試験は課題について考える時間が与えられた後、それに関して質疑応答をする形式で行う。
- (2) 理学部物理学科志望の受験生は2つの性格の異なる面接a)、b)を受ける(それぞれ20分)。b)の資料は事前にPDF電子ファイルとして提出してください(形式、長さ任意)。
 - a) この面接直前に別室で物理の問題を解く。面接ではその解答をもとに質疑応答の中で、物理学・数学の基礎知識や応用力・計算力などをみる。
 - b) 受験生が自分で探究した物理現象・理論・実験などを、提出されたPDFファイルをプロジェクター投影して説明する(10分ほど)。それについての質疑応答の中で物理的洞察力や自分の考えの表現力をみる。
- (3) 理学部化学科は、あるテーマに関する実験を行い(演示実験を含む)、実験結果をまとめ考察する課題を課す。面接では、実験に関する質疑応答を行い実験内容の理解や思考力をみる。
- (4) 理学部生物学科は、「自主研究のポスター発表・質疑応答と口述試験」もしくは「論述試験と口述試験」のいずれかを出願時に選択する。「自主研究のポスター発表・質疑応答と口述試験」では、出願時に提出した縮小版ポスターを映写しながら発表を行い、課題発見・問題解決・研究意欲などを中心に能力を評価する。「論述試験と口述試験」では、生物学や生命科学に関する理解や、これまでの活動実績を総合的に評価する。
- (5) 理学部情報科学科は、基礎的数学力、論理的思考力、および問題解決能力をみるために、数学の問題に関する課題を2題課す。一定の考慮時間のあと面接形式で黒板を使って考えたことを説明する。
- (6) 生活科学部食物栄養学科は、出願時に提出した縮小版ポスターを書画カメラで映写し、自主研究の発表と質疑応答を課す(ポスターの差し替えは認めない)。自主研究のテーマは広く食物栄養学に関連したものとす。個人面接も課す。
- (7) 生活科学部人間・環境科学科は、当日示される課題についての小論文作成を課し、論理的思考力をみる。また口述試験では、数学、物理、化学、生物のいずれかの基礎学力、および、人間、生活、環境への応用力をみる。これまでの活動実績を含めて総合的に評価する。

(注) 第2次選考の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

5. 大学入学共通テストの受験について

合格者は、所属学科が以下に指定する令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を必ず受験してください。併せて、同テスト出願の際に、「試験成績の本人開示」(請求)の手続きをしてください。

*印科目の受験資格

大学入学共通テストの、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

○教科・科目名の表記

地歴公民→「地理歴史・公民」

現社→現代社会、政経→政治・経済、倫政経→「倫理, 政治・経済」

簿会→「簿記・会計」、情報→「情報関係基礎」

【文教育学部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する教科・科目数
人 文 学 科	国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科
	地歴公民		
	数学		7又は8科目
	理科		
外国語			
言 語 文 化 科	国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科
	地歴公民		
	数学		7又は8科目
	理科		
外国語			
人 間 社 会 科	国語	「国語」 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目	5又は6教科
	地歴公民		
	数学		7又は8科目
	理科		
外国語			

【理 学 部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する教科・科目数
数 学 科	国語	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	5教科
	地歴公民		
	数学		7科目
	理科		
外国語			
物 理 学 科	国語	「国語」 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目 「数学Ⅰ・数学A」と、 (「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目 「物理」と、 (「化学」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語リスニングテストを含むー」	5教科
	地歴公民		
	数学		7科目
	理科		
外国語			

化 学 科	国語	「国語」	5教科
	地歴公民	(「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	「化学」と、 (「物理」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目	
	外国語	「英語リスニングテストを含むー」	7科目
生 物 学 科	国語	「国語」	5教科
	地歴公民	(「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	「生物」と、 (「物理」、「化学」、「地学」)から1科目の計2科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	7科目
情 報 科 学 科	国語	「国語」	5教科
	地歴公民	(「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫理」、「政経」、「倫政経」)から1科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	(「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」)から1科目	7科目

【生活科学部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する 教科・科目数
食 物 栄 養 学	国語	「国語」	5教科
	地歴公民	(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から1科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	(「物理」、「化学」、「生物」)から2科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7科目
人 間 ・ 環 境 科 学 科	国語	「国語」	5教科
	地歴公民	(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から1科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	(「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7科目
人 間 生 活 科	国語	「国語」	5又は6教科
	地歴公民	(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7又は8科目
心 理 学 科	国語	「国語」	5又は6教科
	地歴公民	(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫政経」)から2科目	
	数学	「数学I・数学A」と、 (「数学II・数学B」、「簿会*」、「情報*」)から1科目の計2科目	
	理科	(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)から2科目又は、 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目	
	外国語	(「英語リスニングテストを含むー」、「独語」、「仏語」、「中国語」)から1科目	7又は8科目

6. 合格発表等

(1) 合格者の発表

【文系学科】令和4年11月1日(火)9時

【理系学科】令和4年12月8日(木)正午

上記日時に、本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を郵送(速達)する。

また、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入試課ホームページURL <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

- ### (2) 合格者は、総合型選抜の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、一般選抜(前期日程・後期日程)を受験しても本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/>)参照。以下同じ)の入学許可は得られないので、注意すること。
- ### (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

7. 個人情報及び試験成績の利用について

- ### (1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料減免、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- ### (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

8. 入学手続

- ### (1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。

① 入 学 料 282,000円(予定額)

② 授業料年額 535,800円(半期分 267,900円) (予定額)

(入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納入しない場合は、4月1日から5月31日までの間に納入することになる。)

③ 入学手続期間の令和4年12月9日(金)～12月15日(木)に郵送により行う。

(注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。

2 入学料及び授業料の減免については、21 ページの「2. 入学料減免と授業料減免」を参照のこと。

3 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができる。

- ### (2) 入学手続者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、令和5年1月20日(金)までに、その理由を付した本学学長あての「総合型選抜辞退願」(様式任意)を入試課に提出すること。入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

9. 注意事項

不合格となった場合は、国立大学への受験については、学校推薦型選抜の大学・学部から1つ、一般選抜の前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計3つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「令和5年度お茶の水女子大学特別選抜募集要項(学校推薦型選抜、帰国子女・外国学校出身者特別選抜)」(9月上旬から公開予定)、「令和5年度お茶の水女子大学学生募集要項(一般選抜)」(10月下旬から公開予定)により、所定の期間内に手続をすること。

10. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されていますので、次のとおり請求してください。

(1) テレメールで請求する方法

下記 URL・QR コードからテレメールのサイトにアクセスし、ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。

<https://telemail.jp>



資料請求番号 (QR コードの場合は入力不要)

大学案内	5 6 2 3 7 2
------	-------------

- * 17 時 30 分までの受付は当日発送、17 時 30 分以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- * 資料は通常、発送日のおおむね 3～5 日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに 1 週間ほど要する場合があります。
- * 資料請求終了時及び受付確認メール内に表示される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- * 随時発送の資料が 1 週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を 1 週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達は通常ありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認したうえで、お問い合わせください。
- * 料金は、資料到着後 2 週間以内に、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従ってお支払いください。
- * 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い (LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い)」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます (別途手数料が必要です)。

テレメールに関するお問合せ先

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)



(2) その他の請求方法

返信用封筒を本学に送付して、折り返し請求していただく、入試課事務室で直接お受け取りいただくことも可能です。詳しい請求方法等については、下記 URL をご確認ください。

URL : <https://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html>

11. 令和6年度総合型選抜(令和5年度実施)に関する変更の予告

○共創工学部(仮称)新設に伴う入学者選抜の変更(予定)について

お茶の水女子大学では、令和6年(2024年)4月に「共創工学部(人間環境工学科、文化情報工学科)(仮称)」新設を計画しています。【設置構想中】

この新設学部・学科の入学定員は、現行の文教育学部、理学部、生活科学部の一部学科の入学定員を移行するものです。

1. 入学定員

○現行

学部	学科	入学定員
文教育学部	人文科学科	55
	言語文化学科	80
	人間社会科学科	40
	芸術・表現行動学科	27
	計	202
理学部	数学科	20
	物理学科	20
	化学科	20
	生物学科	25
	情報科学科	40
	計	125
生活科学部	食物栄養学科	36
	人間・環境科学科	24
	人間生活学科	39
	心理学科	26
	計	125
合計		452

○新設後

⇒

学部	学科	入学定員
文教育学部	人文科学科	50
	言語文化学科	73
	人間社会科学科	37
	芸術・表現行動学科	25
	計	185
理学部	数学科	20
	物理学科	20
	化学科	20
	生物学科	24
	情報科学科	36
	計	120
生活科学部	食物栄養学科	36
	人間・環境科学科	-
	人間生活学科	39
	心理学科	26
	計	101
共創工学部 (仮称)	人間環境工学科 (仮称)	26
	文化情報工学科 (仮称)	20
	計	46
合計		452

2. 募集人員

共創工学部(仮称)の募集人員は以下のとおりです。

学部	学科	入学定員	募集人員					
			一般選抜		特別選抜			
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国子女・外国学校出身者特別選抜(*1)	私費外国人留学生特別選抜	総合型選抜(新フンボルト入試)
共創工学部(仮称)	人間環境工学科(仮称)	26	19	5	-	若干名	若干名	2
	文化情報工学科(仮称)	20	14	-	6	若干名	若干名	若干名(*2)

(*1) 「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」の合格者(若干名)は前期日程に含む。

(*2) 文化情報工学科(仮称)における「総合型選抜」の募集人員(若干名)は前期日程に含む。

新設計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するものであり、変更の可能性がります。

新設学部・学科の入学者選抜方法の詳細は、確定次第順次公表します。大学ホームページ、令和5年度発行の入学者選抜要項(7月下旬発行予定)や各種学生募集要項等で、必ずご確認ください。

○入学定員の変更について

文教育学部人間社会科学科は、教育科学・子ども学コースが幼稚園・小学校教員養成の課程として入学者を独自に選抜するため、令和6年(2024年)4月に入学定員の変更を予定しています。

○現行

学部	学科	入学定員
文教育学部	人間社会科学科	40

○変更後

学部	学科	入学定員
文教育学部	人間社会科学科 (教育科学・子ども学コース)	37 (25)

入学定員のカッコ内は教育科学・子ども学コースの内数

※1 人間社会科学科では、令和6年度開設の教職課程認定申請を予定しています。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

※2 人間社会科学科では、教育科学主プログラム、社会学主プログラム、子ども学主プログラム、グローバル文化主プログラムを開設していますが、教育科学・子ども学コース入学者は教育科学主プログラムまたは子ども学主プログラムだけを選択することができます。それ以外の人間社会科学科入学者は、社会学主プログラムまたはグローバル文化主プログラムだけを選択することができます。教育科学主プログラム選択者は小学校教員免許を取得できます。子ども学主プログラム選択者は幼稚園教員免許を取得できます。グローバル文化主プログラム選択者以外の方は中学校(社会)・高等学校(公民)の教員免許を取得することができます。

IV その他の案内

奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

1. 奨学金 (本学 HP から情報が見られます)

本学独自の奨学金として“みがかずば”奨学金(予約型奨学金)、学部生成績優秀者奨学金等があります。

“みがかずば”奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験者に対して、入学後の生活の目処をたてていただくことを目的としたものです。入試出願前に奨学金を申請していただき、内定した方は入試合格・入学後に所定の手続をとることで、奨学生として採用されます。

学部生成績優秀者奨学金は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る。)のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援課(Tel03-5978-5148)に照会してください。

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が給付・貸与されます。現在、給付奨学金、第一種奨学金(無利子)及び第二種奨学金(有利子)の3種類があります。新たに給付・貸与を希望する者は4月中に募集を行いますので学生・キャリア支援課(Tel03-5978-5148)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel03-5978-5143)に照会してください。

2. 入学料減免と授業料減免 (本学 HP から情報が見られます)

注意事項 入学料及び授業料を納入済の者は減免・猶予の対象となりません。

(1) 入学料減免の制度と申請資格について

①入学料減免の対象者

次のa～cに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者

b 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の給付対象となる者

c aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②減免額について

入学料の減免が必要と認められた者については、納入すべき入学料の全額又は一部を減免します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については(3)を参照してください。

(2) 授業料減免の制度と申請資格について

①授業料減免の対象者

a 入学料減免のbと同様

b 経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②減免額について

授業料の減免が必要と認められた者については、納入すべき授業料の全額又は一部を減免します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

減免は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。又は、次のa、bに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生又はその学資負担者が災害を受け、納入困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料又は授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③申請時期

入学料徴収猶予 一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. **学生寮** (本学 HP の情報を確認願います)

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮があります。

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

入寮申請日程については、本学ホームページをご確認願います。

施設概要

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
音羽館	お茶の水女子大学 大塚キャンパス	450人	個室	なし	賃料 48,800 円 共益費 5,000 円 その他光熱水費等	学部生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50人	個室 (ハウス)	なし	賃料 30,000 円 その他光熱水費等	学部 1, 2年生 (含留学生)

※賃料等については予定額であり、変動する可能性があります。

4. **入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について**

(1) 申請書の入手方法について申請書は、お茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください。

①入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

②学生宿舎について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

(2) 問合せ先

学生・キャリア支援課 入学料減免・授業料減免・学生寮担当 TEL 03-5978-2646

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **アパート等の紹介**

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

6. お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	{ 地下鉄 丸ノ内線 地下鉄 有楽町線 都営バス	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
		護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
		大塚2丁目停留所前

◎JR池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車

有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02乙系統)

◎JR大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02系統)

◎JR東京駅又はJR御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕—約5分— 御茶ノ水駅 —約6分—→ 茗荷谷駅下車



入学者選抜に関するお問い合わせ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください
入試課ホームページURL (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)